

御庵遺跡 第39地点

遺跡名	御庵遺跡
よみがな	ごあんいせき
調査地点	第39地点
主な時代	縄文時代中期
調査地	富士見市鶴馬1丁目2159-1、2160-1
調査面積	702 m ²
調査期間	平成28年8月8日～12日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代中期の集石1基 縄文時代中期の埋甕1基</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文時代中期土器</p> <p>【概要】 御庵遺跡は、縄文時代早期～中期、平安時代、中・近世の遺構が多数確認されている遺跡です。調査した第39地点からは、縄文時代中期の集石や屋外埋甕が各1基、そのほか土坑、炉穴などが発見されました。発見された集石は熱した礫の余熱で食材を蒸し焼きにする調理施設です。 これまでの調査で、本地点周辺では住居跡が多数確認されており、眼前に谷を臨む環境で、集落から少し離れた場所で営まれた当時の生活風景の一場面が目に浮かびます。</p>



出土した縄文時代の埋甕



縄文時代の集石